第28号

まーぶる通信

2018年1月12日

発行者　福富 恵美子／編集者　髙田 一範
法人 〒615-0882　京都市右京区西京極葛野町 39 番地
TEL 075-874-5639（代表・居宅）075-874-5617（デイ・ショート）FAX 075-874-5640（共通）
E-mail：marble.2009@room.ocn.ne.jp
にじょう 〒604-8411　京都市中京区聚楽廻南町 8-21　TEL 075-748-0220 FAX 075-748-0221
E-mail：nijo@marble2009.org
ホームページ：http://www.marble2009.org　Facebook：http://fb.com/465262290180944

新しい年のご挨拶を申し上げます。

理事長　福富恵美子

昨年1年のたっくさんの皆様への感謝と、まだまだ至らないことがたっくさんだったことへのお詫びも含めて、新年のご挨拶をさせていただきます。

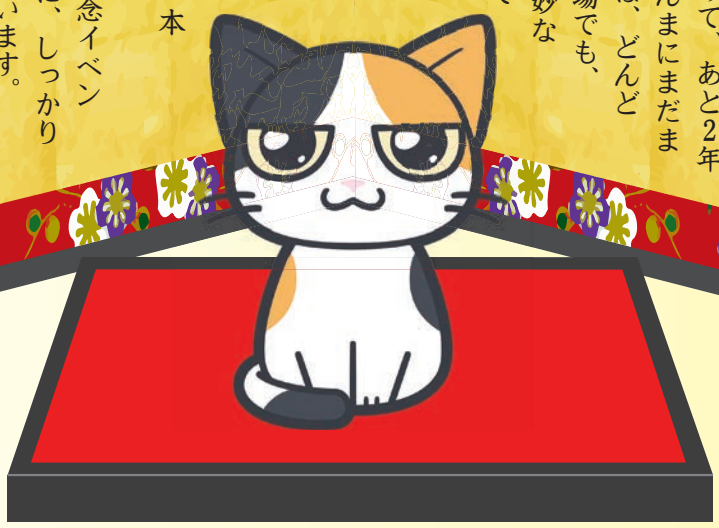
昨年12月9日に、まーぶるが法人として誕生してから8年を迎えました。3年前の法人設立5周年記念事業の時には、次の10年に向けて、「みんながご機嫌にくらせるように、法人としての活動をがんばろう」と改めて心に誓ったわけですが、10周年にむけて、あと2年少し・・どうだろうか?と立ち止まって考えると、「ほんまにまだまだやなあ。」と思います。そしてむしろ、世の中の流れは、どんどん厳しくなっていってます。政治の世界でも、くらしの場でも、教育の場でも・・排除の論理がまかり通り、経済効率と妙な平等が求められ、いのちへの軽視、選別が進んでしまっています。そんな中で、福祉はというか、人への関わりそのものが「消費」の対象としてどんどん切り売りされている現実にどれだけ抗っていけるか?人のくらし、ご機嫌なくらしを切り売りするのではなく、「平等」の名の下により「生きづらい人」を生み出し、江戸時代ではないですが「下見て暮らせ」と誘導され、どこかで「私はまだまし」と差別し差別されていくことを気づかないまま、「あたりまえ」としないように本当に、本当に、気をつけなくてはいけません。

「いのちあるもの」が「それぞれのいのち」（5周年記念イベント 米田祐二写真展のテーマタイトルでしたね）を大切に、しっかりと生き通せるよう、皆さんと一緒に歩んで参りたいと思います。

まーぶるでは、次の新たな展開に向け、プロジェクトを立ち上げようと準備をしております。

２０１８年、次のステップへ向けて、足下を固めていきたいと思います。

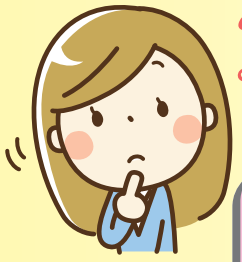
皆様にとってもご機嫌な年となりますよう、そして、本年もまーぶるをどうぞ宜しくお願いいたします。





ノロウィルス感染症にかからないために

日頃のちょっとした疑問や、知ってて損のない豆知識などをまーぶるのナースがお届けします。
今回は、寒い時期によく話題になるノロウイルスについてのお話です。
さっ！はじまるよー！



ノロウィルス感染症ってどんなの？

ノロウィルスとは、極少量入っただけで感染し増殖するウィルスです
非常に感染力が強く冬場に流行します。

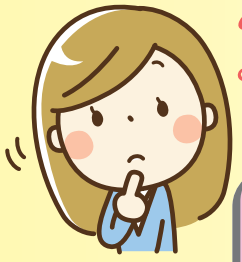


症　状 ― 急な吐き気・嘔吐・下痢・腹痛で２～３日で治まりますが、子どもや高齢者などの体力のない人は脱水症状を起こすことがあります。

感染経路 ― 冬の二枚貝による食中毒が有名ですが、注意しないといけないのは人から人への感染です。
感染者から排出される嘔吐物と下痢便による接触感染・飛沫感染、排出物が乾いて舞い上がったほこりを吸い込むことによる塵埃感染です。

潜伏期間 ― ２４～４８時間





どうしたら予防できるの？



手洗いが大切 ― しっかりと手洗いし、タオルの共有はやめてペーパータオルなどで拭くようにしましょう。

清掃、消毒はしっかりと ― ノロウィルスにはアルコール消毒は効果がないので、消毒には塩素系の漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）を使いましょう。
感染者が触れたところは、消毒液を含ませたペーパータオルなどでまめに拭き取りましょう。

食品は加熱処理をする ― ノロウィルスは８５℃１分間の加熱で死滅します。
生では食べず、必ず中心部まで火を通しましょう。
下痢などの症状がある人は調理しないようにしましょう。

嘔吐物の処理 ― 必ず使い捨ての手袋とマスクをしてください。
嘔吐物を片付けた用具や雑巾類・汚れた衣類などは塩素系漂白剤に１０分以上着け置いてから、他の洗濯物とは別に洗濯しましょう。
カーペットや畳などが汚れた場合は消毒液を染みこませた布やペーパーなどでおおい、その上からナイロンをかぶせてしばらく放置しましょう。
トイレで嘔吐や下痢をした場合は便器のフタを閉じてから流すといいと言われています。（周りに飛び散らない）



皆さんには、どんな年賀状が届きましたか？？



まーぶるをご利用いただいている皆さん、まーぶると関わって下さっている皆さんのところへ、まーぶるからの年賀状が届いているかと思います。

例年、 まーぶるの利用者さんに作ってもらっている年賀状ですが、 今年はにじょうの子どもたちに年賀状の絵を制作してもらいました。

しかも、 なんと５パターンもの絵を用意してくれました。

どれも力作揃いで、 本当はすべての絵を１枚の年賀状に載せたかったのですが、 小さい年賀状に何枚もの絵を載せることができない、 それならば、 年賀状も５パターン作ってしまおう！と。

ただ、 皆さんの手元に届いている年賀状以外の年賀状も見ていただきたく、 年明け最初の通信ですべての年賀状を掲載させていただくことにしました。

子どもたちが、 どんな風に制作してくれたかなどの様子は、 次のページでご紹介します。











子どもたちの大作！～年賀状用の作品が出来るまで～

こんにちは！まーぶるにじょうの吉田です。

まーぶるにじょうの子どもたちと一緒に来年の年賀状用の作品を作りました。

折り紙をビリビリと破ったり、それを画用紙にのりでペタペタと貼ったり、筆（子どもたちが塗りやすいよう工夫したもの）を作って絵の具で色を塗ったり、手型でペタペタと模様を作ってくれたりと、にじょうの子どもたちの集大成となる素敵な作品が出来上がりました。

子どもたちに、お正月にみんなの作った作品が年賀状になって、どの作品の年賀状がお家に届くか楽しみやなぁ～と話しているとニコっとい顔になり、作った子どもたちも届くのを楽しみに待っています。

これからも子どもたちと色々な作品を作ったりして、一緒にニコっとい顔になれる楽しい放課後を過ごしてもらえるよう一緒に過ごす時間を大切にしていきたいと思いました。







編集後記

いよいよ 2018 年がスタートしました！2017 年も気づけば終わってしまった感じで、新年を迎えて、ふと振り返ってみると、大変だったことや、みんなで楽しく過ごせたことなど、いろいろとありました。さて今年はどんな年になるのでしょうか？

平穏無事に日々が過ぎていってくれることを願うばかりですが、バタバタと充実？した日々を送るのだと思います。

おそらく 2019 年の最初の通信では、「あっという間に 2018 年が過ぎました」とか言っていると思います。今の段階で予言しておきます。もし現実になったときには、本当に言ってるよ、と笑ってやってください。



高田